

【資料25-1】  
※資料13の最新版

【資料25-1】 第5次総合計画前期基本計画の振り返りについて

取組名		10年後に目指したい将来像	振り返りの総括
4	乳幼児期の育ち	地域、事業者・団体等、行政が連携と協働によって行う「豊かな心、生きる力を育む就学前の教育・保育」を通じて、すべての子育て家庭とこどもの健やかな成長を応援するまちを目指します。	<p>保育士の確保対策を効果的・継続的に行うとともに、新たな認定こども園の開園により保育の供給量が確保できたことで、「保育所等の待機児童数」が大幅に減少した</p> <p>市立幼稚園については、R6年4月に市立認定こども園みつば幼稚園、R7年4月に認定こども園ありまふじ幼稚園が開園し、多様な保育サービスの提供体制が整った。障害や特別な配慮・支援を要するこどもに適切な保育を行うため、臨床心理士による巡回支援や加配保育士の体制確保、資質向上の取り組みなど、特別支援等の充実に努めた。</p> <p>幼保小による連携・交流事業の取り組みや、教育・保育内容に係る合同研修の積み重ねなど、円滑な接続に向けた取り組みに関して、就学前施設と小学校との共通認識が進んできたことで、「小学校生活への円滑な接続度」が増加傾向となっている。</p> <p>市立幼稚園による「幼稚園元気アップ共有事業」、市立認定こども園によるアウトリーチ型事業など、こどもたちの生きる力の育成につながる地域交流や体験活動の充実と継続を図ってきた。これらの取り組みを通じて、こどもが大きく成長したと考える保護者の割合が年々増加している。</p> <p>保育供給量の確保が進んだ一方で、幼稚園教諭・保育士の離職率は増加傾向にあったが、保育士の確保対策や賃金の上昇などにより、R5をピークに離職率は減少に転じている。</p>

市民意識調査の結果		指標等の進捗状況						
重要度	4.01	指標名	基準値(R2)	方向性	R4	R5	R6	目標R8
重要度平均からの偏差	0.03	1 保育所等待機児童数	39人(R3)	↓	6人	2人	2人	0人
重要度順位	10/25位	2 小学校生活への円滑な接続度	44.4%(R3)	↑	31.3%	55.9%	50.0%	増加
満足度	3.12	3 就学前施設における教育・保育により、こどもが大きく成長したと考える保護者の割合	85.7%	↑	84.6%	88.8%	89.5%	増加
満足度平均からの偏差	0.04	4 市内就学前教育・保育施設の保育士・幼稚園教諭の離職率	10.9%(R3)	↓	11.3%	12.3%	11.4%	減少
満足度順位	8/25位							

「ひと」のチカラを育み、活きるまち ～輝く人づくり～

## 4 乳幼児期の育ち



### 1. 10年後に目指したい将来像

地域、事業者・団体等、行政が連携と協働によって行う「豊かな心、生きる力を育む就学前の教育・保育」を通じて、すべての子育て家庭と子どもの健やかな成長を応援するまちを目指します。

### 2. 10年後に心配される三田の状況

### 3. 10年後に目指したい三田の状況

取り組み

<b>A</b>	保育を必要とする子どもの保護者が何らかの保育サービスは利用できているものの、その内容が状況に応じた保育需要と合致していないこと	→	待機児童※が解消しているとともに、需要に見合う多様な保育サービスが供給され、保護者が選択し利用できていること	①
<b>B</b>	少子化や保育率の上昇が進む一方、幼保一元化が進まず、市内就学前施設における質の高い幼児教育・保育の推進が困難になっていること	→	就学前施設で、良好な環境の中、質の高い幼児教育・保育が行われ、すべての子どもの生きる力の基礎を豊かに育むことができていること	②
<b>C</b>	就学前教育・保育施設において、特別な支援を必要とする子どもたちに、きめ細かな対応ができていないこと	→	特別な支援を必要とする子どもが、適切に就学前教育・保育を受けることができ、健やかな育ちにつながっていること	③
<b>D</b>	就学前教育・保育施設と小学校との接続が十分になされず、連続性のある学びや育ちが保障できていないこと	→	幼児期の学びや育ちと小学校での生活が円滑に接続され、一人ひとりが安心して豊かに成長していること	④
<b>E</b>	少子化の進展により、就学前教育・保育施設の持続が困難となっていること	→	少子化が進展しているものの、規模の適正化や高度化する保護者ニーズへの対応等により、市内の就学前教育・保育施設が適正に維持されていること	⑤

■保育所及び幼稚園児童数



	H28	H29	H30	R1	R2	
就学前児童数(人)	5,597	5,585	5,511	5,440	5,138	
保育所	定員(人)	835	985	745	745	745
	入所率(%)	108.6	101.6	102.3	106.3	103.0
市立幼稚園	定員(人)	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190
	入所率(%)	30.2	27.8	24.9	23.2	23.6
私立幼稚園	定員(人)	580	260	260	260	—
	入所率(%)	82.6	103.1	94.6	88.1	—
認定こども園	定員(人)	1,519	1,837	2,152	2,209	2,419
	入所率(%)	104.5	99.2	99.4	97.6	95.5
小規模保育事業	定員(人)	57	95	95	114	114
	入所率(%)	75.4	94.7	83.2	97.4	93.0

※就学前児童数は各年3月末現在。その他は各年5月1日現在

※待機児童 43ページ参照

※地域型保育事業

市町村の認可を受け、0～2歳児を少人数の家庭的な雰囲気の中で保育を行う事業のことをいう(例:定員6～19人の小規模保育事業)。

「ひと」のチカラを育み、活きるまち ～輝く人づくり～

## 【4】乳幼児期の育ち

★人口減少対策★

### 1 10年後に目指したい将来像

地域、事業者・団体等、行政が連携と協働によって行う「豊かな心、生きる力を育む就学前の教育・保育」を通じて、すべての子育て家庭と子どもの健やかな成長を応援するまちを目指します。

### 2 10年後に心配される三田の状況

### 3 10年後に目指したい三田の状況

取り組み

指標

<b>A</b>	保育を必要とする子どもの保護者が何らかの保育サービスは利用できているものの、その内容が状況に応じた保育需要と合致していないこと	→	待機児童が解消しているとともに、需要に見合う多様な保育サービスが供給され、保護者が選択し利用できていること	①	b
<b>B</b>	幼児期の発達段階や家庭状況に合わせた育成の場が確保されず地域での子育てが困難になっている。また、市内就学前施設における多様なニーズへの対応や質の高い幼児教育・保育の推進が困難になっていること	→	自然豊かで良好な環境のもと地域の子育てを支援するとともに、保護者の価値観、就業状況による多様な教育・保育ニーズに対応できる就学前施設で、質の高い幼児教育・保育が行われ、すべての子どもの生きる力の基礎を豊かに育むことができていること	②④⑤	a・d
<b>C</b>	就学前教育・保育施設において、特別な支援を必要とする子どもたちに、きめ細かな対応ができていないこと	→	特別な支援を必要とする子どもが、適切に就学前教育・保育を受けることができ、健やかな育ちにつながっていること	③	a
<b>D</b>	就学前教育・保育施設と小学校との接続が十分になされず、連続性のある学びや育ちが保障できていないこと	→	幼児期の学びや育ちと小学校での生活が円滑に接続され、一人ひとりが安心して豊かに成長していること	④	c
<b>E</b>	少子化の進展により、就学前教育・保育施設の持続が困難となっていること	→	少子化が進展しているものの、規模の適正化や保護者ニーズを踏まえた対応等により、市内の就学前教育・保育施設が適正に維持されていること	⑤	b・d

《前期基本計画》

《後期基本計画(素案)》

4. 取り組み

市民

- 子育て支援活動や日常的な声かけ等を通じて、子どもたちが健やかに成長し安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。
- 保護者が様々な機会を通して子育てについて学びます。

事業者・団体等

- 子どもをもつ親が、安心して働けるよう子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを進めます。
- 子どもの安全面や乳幼児を抱える家族に配慮した施設の整備等に努めます。

市

①保育サービスの充足と充実による子育て支援に対する満足度向上

保護者の多様な保育需要の的確な把握に努め、市立幼稚園の認定こども園化や民間保育施設の定員弾力的運用支援等により必要な保育量を確保することで待機児童ゼロを維持するとともに、一時預かり等保育サービスの充実を図ります。それらを支える保育人材を新卒保育士の就労支援や潜在保育士の発掘等により、適正に確保できるよう努めます。

②生きる力の基礎を育む幼児期の教育・保育の推進による子どもの育ちの支援

市立幼稚園の再編による望ましい集団規模の確保とあわせて、就学前教育・保育施設の公民連携や保育者の資質の向上と、豊かな自然、文化、歴史、伝統等の地域資源の活用や地域人材との交流に努めることにより、市全体の就学前教育・保育の充実を図ります。

③特別な支援が必要な子どもたちへのアプローチ

市内の就学前教育・保育施設において、特別な支援を必要とする子どもたちのもっている力を伸ばせるよう人材を確保するとともに、職員の専門的資質向上のための研修や市内療育施設等の関係機関との連携等により支援をつないでいくよう努めます。

④すべての子どもの円滑な学びや育ちに向けたアプローチ

具体的な取り組み等を発信し、共有することで就学前教育・保育施設と小学校の連携強化を図ります。就学前教育・保育施設に就園していない子どもたちに対しても、家庭教育への支援や学校園等の施設を活用して行われる未就園児向けプログラム等を通じた円滑な小学校との接続に努めます。

⑤就学前教育・保育を支える基盤の確保

就学前児童数の変化等に応じて、市全体での就学前教育・保育の量と質を持続的に確保するため、公立・私立それぞれの施設の役割分担の検討等を進めるとともに、多様かつ高度な就学前教育・保育に対応できる人材確保と質の向上の支援に努めます。

5. 成果指標等

指標名	基準値	基準年	目標値(R8)
保育所待機児童数	39人	(R3)	0人
小学校生活への円滑な接続度	44.4%	(R3)	増加
就学前施設における教育・保育により、子どもが大きく成長したと考える保護者の割合	85.7%	(R2)	増加
市内就学前教育・保育施設の保育士・幼稚園教諭の離職率	10.9%	(R3)	減少

■主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市立幼稚園預かり保育条例、三田市地域型保育事業 <sup>※</sup> の設備及び運営に関する基準を定める条例、三田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、三田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する規則
関連計画	三田市子ども・子育て支援事業計画、三田市教育振興基本計画、三田市障害者福祉基本計画

4 取り組み

市民

- 子育て支援活動や日常的な声かけ等を通じて、子どもたちが健やかに成長し安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。
- 保護者が子育て支援事業やイベント等に積極的に参加し、子育てについて学び、関心を高めます。

事業者・団体等

- 子どもをもつ親が、安心して働けるよう子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを進めます。
- 子どもの安全面や乳幼児を抱える家族に配慮した施設の整備等に努めます。

市

①保育サービスの充足と充実による子育て支援に対する満足度向上

保護者の多様な保育需要の的確な把握に努め、保育園・認定こども園の適正な需給バランスを維持し、引き続き待機児童ゼロを維持するとともに、一時預かり等保育サービスの充実を図ります。それらを支える保育人材を新卒保育士の就労支援や潜在保育士の発掘等により、適正に確保できるよう努めます。

②生きる力の基礎を育む幼児期の教育・保育の推進による子どもの育ちの支援

市立幼稚園・認定こども園による地域資源の活用や地域人材との交流による共育事業及び地域の子育て支援事業の充実を図ります。市内の幼児教育・保育施設との連携による研修会や市立幼稚園・認定こども園が実施する教育・保育研究事業及び公開保育の内容の充実を図り、市内就学前施設で勤務する教員・保育士の資質向上を図ります。

③特別な支援が必要な子どもたちへのアプローチ

市内の就学前教育・保育施設での専門知識及び資質の向上に向けた研修・育成、臨床心理士による巡回支援の取り組みの強化に努めます。相談窓口や関係機関と連携しながら、特別支援を必要とする子どもたちを支援するとともに、専門機関へ適切に支援をつないでいくよう努めます。

④すべての子どもの円滑な学びや育ちに向けたアプローチ

幼児期から児童期への円滑な接続の取り組みを強化するため、幼保小による情報交換や相互交流、研修機会の充実を図ります。就学前教育・保育施設に就園していない子どもたちに対しても、家庭教育への支援や学校園等の施設を活用して行われる未就園児向けプログラム等を通じた円滑な小学校との接続に努めます。

⑤就学前教育・保育を支える基盤の確保

幼児期のこどもの健やかな育ちにとって望ましい集団規模と良質な教育・保育環境の確保に向けた公立の就学前施設のあり方について、役割を整理し地域の実情を踏まえて検討を進めるとともに、少子化と就学前児童数の変化等に応じて、市全体での就学前教育・保育の量の適正化と質の持続的確保に努めます。幼児教育・保育に関する人材確保を目的とした取り組みを継続します。

◆評価指標

	指標名	現状値 (基準年)	目標値 (R13)
	<b>KGI 施策重要度・満足度(市民意識調査)</b>	重要度 4.01pt 満足度 3.12pt	↑
a	KPI 就学前施設における教育・保育により、子どもが大きく成長したと考える保護者の割合	90.7% (R7)	増加
b	KPI 保育所待機児童数	1名 (R7)	0人
c	KPI 小学校生活への円滑な接続度	43.8% (R7)	増加
d	KPI 市内就学前教育・保育施設の保育士・幼稚園教諭の離職率	9.2% (R7)	減少

◆主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市立幼稚園預かり保育条例、三田市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、三田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、三田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する規則
関連計画	三田市子ども計画、三田市教育振興基本計画、三田市障害者福祉基本計画

最上位指標  
市民の幸せ実感度の向上

	KGI (成果指標)	KPI (活動指標・取組指標)		現状値	目標値	指標の設定理由	所管課
4 乳幼児期の育ち	・施策重要度 ・施策満足度	-	新規	重要度 4.01pt 満足度 3.12pt	向上	全施策固定指標	
		就学前施設における教育・保育により、こどもが大きく成長したと考える保護者の割合	継続	90.7% (R7)	増加	人格形成の重要な時期である乳幼児期の成長は特に関心が高い。	幼児教育振興課
		保育所等待機児童数	継続	1名 (R7)	0人	保育サービスの充足度を測るうえで重要な指標である。	保育振興課
		小学校生活への円滑な接続度	継続	43.8% (R7)	増加	就学前から小学校への円滑な接続に向けた取り組みにより、児童の安心安全な学校生活及び教育につながっていることを測る指標。	幼児教育振興課
		市内就学前教育・保育施設の保育士・幼稚園教諭の離職率	継続	9.2% (R7)	減少	教育・保育に関わる人材は、教育・保育の量の確保及び施設の安定的な運用に必要不可欠である。	幼児教育振興課 保育振興課